

# 志賀島自由大学～海と日本 PROJECT 第2期 イベント参加者募集

志賀島をさまざまな切り口から解説する**レクチャー・シリーズ**と、志賀島を五感で味わう**ワークショップ・シリーズ**を両輪とする**志賀島自由大学**。このたび、第2期のイベント参加者を募集します。

## 志賀島プロジェクト 2018 海と神話をつなぐ

10.27 SAT

聖地としての志賀島～志賀海神社権禰宜、  
平澤(阿曇)憲子氏が語る祈りの島

11.11 SUN

海を聴く～海中録音にチャレンジ

11.17 SAT

・古代の塩作り  
・海と考古学～玄界灘をめぐる人々

11.24 SAT

志賀島の古層にふれる～仏閣巡り

### お申し込み方法

以下のウェブサイトよりお申し込みください。

<http://www.sal/design.kyushu-u.ac.jp/shikanoshima.html>



日本財団 THE NIPPON FOUNDATION 海と日本 PROJECT 九州大学



大学院芸術工学研究院  
大学院芸術工学府  
芸術工学部

SOCIAL  
ART  
LAB  
FACULTY OF DESIGN  
KYUSHU UNIVERSITY

このイベントは、海と日本 PROJECT の一環で実施しています。



10.27 SAT 15:00-17:00 Lecture

## 聖地としての志賀島～志賀海神社権禰宜、平澤(阿曇)憲子氏が語る祈りの島

志賀海神社権禰宜の平澤(阿曇)憲子氏を芸工にお招きして、四方を海に囲まれ、豊かな自然のなかに生きる志賀島の生活や御神事などについて語っていただきます。とくに、「自然循環の法則を知り、祭として祈り伝えてきた」と平澤氏が語る「山ほめ祭」は、古代の知恵と神事が一体となった祭礼ですが、このようなエコロジーの思想など、「志賀島から学ぶ」機会となるでしょう。

会場：九州大学大橋サテライト「ルネット」(受付開始 14:30)

講師：平澤憲子(志賀海神社権禰宜)

出演：知足美加子(クロストーク)、藤枝守(進行)

参加費：無料(申し込み不要)

11.11 SUN 13:00-15:00 Workshop

## 海を聴く～海中録音にチャレンジ

いっけん、しずかにみえる海面とはまったく異なり、海のなかは音で満ちあふれています。志賀島漁港近くの堤防から海に釣り糸のように水中マイクをたらし、海の音をレコーディングして聴いてみましょう。エビなどの海中生物が発するダイナミックなサウンドが広がっているかもしれません。

集合場所：シカシマサイクル(受付開始 12:30)

講師：岡崎峻 アシスタント講師：帯屋健之

参加費：1000円 [定員 15名(要申し込み・先着順)]

※参加費の他に、お一人様ワンドリンクオーダーをお願いします。

※お子様づれも歓迎します。

※雨天の場合は海の中の音についてのミニレクチャーを行います。

### ■講師プロフィール

#### 平澤憲子

志賀海神社社家の阿曇家に生まれる。大学卒業後、外資系IT企業にシステム・エンジニアとして勤務。2009年に兄の前宮司・阿曇磯和氏の急逝により、神職資格を取得し、2012年より志賀海神社に権禰宜として奉職。

#### 岡崎峻

九州大学大学院博士課程満期退学。水中環境音の聴取をはじめ、電気的なテクノロジーを利用した不可聴の現象の可聴化について研究を行う。論文に「二重記述へのステッパーデヴィッド・ダンの《樹の中の光の音》における科学的視座の役割」(『表象 11』、2017年)など。

#### 福蘭美由紀

1984年鹿児島県生まれ。2011年福岡市入庁(文化財部埋蔵文化財調査課)、2016年より福岡市博物館学芸課。平成30年度企画展「ふくおかの塩」などの展示を担当。

#### 森本幹彦

1978年奈良県生まれ。東京大学大学院人文社会系研究科修士課程修了。2006年福岡市入庁(文化財部埋蔵文化財調査課)、2013年より福岡市博物館学芸課。弥生時代の対外交渉などを研究。平成26年企画展示「博物館もよりの砂丘遺跡」、平成27年特別展「新・奴国展～ふくおか創世記～」、平成29年特別展「よみがえれ! 鴻臚館～行き交う人々と唐物～」などの展示を担当。

#### 比屋根綾子

志賀島文化協会理事長。歯科麻酔科医。痛みと記憶の研究を経て、振動医学を応用した統合医療を実践しながら音と瞑想を取り入れたセミナーを主催している。

九州大学ソーシャルアトラボ志賀島グループ

■お問い合わせ Mail:sal-sea@design.kyushu-u.ac.jp

Tel:050-3573-4283

11.17 SAT 13:00-14:30 15:00-16:30

## 古代の塩作り/Workshop

万葉集には、志賀島の海人が海藻を刈り取り焼いて塩を作る、いわゆる「藻塩焼(もしおや)き」の様子が歌われています。生きていく上で欠かせない塩。自然の恵みである塩を、人々はどのように受け取り、活用してきたのか。このワークショップでは、塩と人々の関わりについて考えます。

会場：九州大学大橋キャンパス「デザインコモン」(受付開始 12:30)

講師：福蘭美由紀(福岡市博物館)

参加費：無料 [定員 20名(要申し込み・先着順)]

## 海と考古学～玄界灘をめぐる人々/Lecture

玄界灘沿岸には古くから砂丘が形成されており、これまでの発掘調査で原始・古代の遺跡が多くみつかっています。海を通じた大陸との交流が活発となり、玄界灘沿岸に日本列島の中で先進的な国々が形成された時代です。発掘された海の遺跡は、海民が対外交渉において重要な役割を担っていたことを物語っています。10月から開催の「海と遺跡」の企画展示を担当する福岡市博物館の学芸員が、遺跡からみた海民の実態について語ります。

会場：九州大学大橋キャンパス「デザインコモン」(受付開始 14:45)

講師：森本幹彦(福岡市博物館)

参加費：無料 [定員 40名(要申し込み・先着順)]

11.24 SAT 13:00-16:00 Workshop

## 志賀島の古層にふれる～仏閣巡り

博多湾の玄関に位置する志賀島は古代から中世にかけて中国に渡った多くの名僧が足跡を残しました。莊嚴寺は鎌倉時代に開山したと伝わる臨済宗東福寺派の寺院で、様々なお像を今に伝えます。歴史あるお像を拝観し、本堂で座禅を体験したら、志賀島を巡るツアーに出発しましょう! 志賀島の自然を体験し、万葉の歌に詠まれた古代の海人たちに思いを馳せます。

集合場所：莊嚴寺(受付開始 12:30)

講師：山崎公明(莊嚴寺 住職)

ナビゲーター：比屋根綾子(志賀島文化協会)ほか

参加費：1000円 定員：25名(要申し込み・先着順)

※座禅ができる年齢のお子様は参加できます。

※歩きやすい服装と靴でお越しください。

※小雨決行。荒天の場合は莊嚴寺でレクチャー & 座禅を行います。

### ■会場情報

・九州大学大橋サテライト「ルネット」：福岡市南区大橋 1-3-27

・九州大学大橋キャンパス「デザインコモン」：福岡市南区塩原 4-9-1  
(西鉄天神大牟田線「大橋」駅より徒歩5分)

・シカシマサイクル：福岡市東区志賀島 417-1(志賀島渡船場から徒歩3分)

・莊嚴寺：福岡市東区志賀島 813-1(志賀島渡船場から徒歩6分、駐車場有)

### ■クレジット

総合ディレクター：藤枝守(九州大学大学院芸術工学研究院教授)

主催：九州大学ソーシャルアトラボ

共催：志賀島文化協会、志賀島自治連合会

協力：志賀海神社、ふたば幼稚園、福岡市漁業協同組合志賀島支所、

志賀商工会、志賀島農業協同組合、福岡市博物館

後援：福岡市、西日本新聞社、RKB 毎日放送

助成：日本財団「海と日本 PROJECT」